

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292200621		
法人名	SOMPOケア株式会社		
事業所名	SOMPOケアそんぼの家GH柏		
所在地	千葉県柏市柏1007-1		
自己評価作成日	令和2年9月23日	評価結果市町村受理日	令和2年12月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	東京都世田谷区弦巻5-1-33-602		
訪問調査日	令和2年11月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、SOMPOケア株式会社が運営するグループホームです。閑静な住宅街の中に佇んでいます。広々とした敷地に、和風造りの平屋建て。どこか旅館の趣が感じられます。認知症の入居者様一人一人に合わせた設計・設備となっております。全てバリアフリーとなっております、安心・安全に生活して頂けます。ユニットは3つあり、中庭を囲むような造りとなっております。また職員の研修制度も充実しております。新入社員には1年間のフォローアップ研修があります。毎月の事業所内研修。外部の講師の先生を招いての研修(本社)への参加。日々ケアの向上に努めております。他にも 訪問診療・訪問看護・訪問歯科・訪問マッサージ・薬剤師による往診時の立会い・お薬の管理等、お一人お一人に合った体調管理をサポートしております。又看取り(ターミナルケア)を行っており、ご本人様・ご家族様に寄り添いサポートいたしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

柏駅から2kmほどの距離にあり、市民文化会館に近く、市の中心街に近いながら閑静な住宅地に、外観が一見旅館に見えるような和風造りの3ユニット平屋建てのホームです。内部も全て和風造りで落ち着いた雰囲気です。
 今回の評価の一環として実施した家族アンケートで、各質問への回答及び自由意見において、回答家族から非常に良い評価を得ており、一度ほとんど自力で食べられなくなった人が、自分で少しずつ食べられるようになった等、生きることへの気力を取り戻したり、維持するよう自立に向けて支援しています。近年希望が増えているホームでの看取りについても、訪問診療医との適切な連携により、スムーズに行っており、利用者・家族にとって長く信頼できるホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元との関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ビジョン・経営理念・事業運営指針・行動指針5項目を掲げています。各ユニット毎に掲示をし全スタッフへ共有しています。	行動指針は地域密着型サービスを踏まえたものとなっており、ビジョン・理念・方針を含め、職員として当然しっかりと心に留めて業務に当たることが必須ですが、全てを覚えることには難があるようです。	行動指針を覚えやすいように、例えば単語等を並べたホーム独自の理念の作成を検討することが望まれます。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入をしています。地域のイベント・行事への参加・消防訓練を行っています。ボランティア(傾聴)の受け入れを行っています。(コロナ禍で中止している事も多数あり)	現在コロナ禍により地域との交流はストップ状態ですが、クリーンデーには参加できるし、町内会長が運営推進会議に出席してくれる等理解があるので、収束すれば交流が盛んになることが期待できます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームが地域の中にある事は地域住民の方には周知されています。クリーンデーへの参加・挨拶などを通してご理解いただけるように努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回運営推進会議を実施しています。地域支援包括センター・町会長様・ご入居者様が参加されます。ご家族様の参加は 平日の為参加はありませんが、ご面会時にご意見や、ご要望をお聞きしています。其れを元に事業運営に取り組んでいます。(コロナ禍で開催はしておりません。事業所のみ)	会議は従来、地域包括支援センター、町会長の出席を得て年6回開催していましたが、現在は行政の理解の下、内部で書面開催とし、関係者に報告する形を取っています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	柏市のホームページ・メールなどで、情報交換を密にしています。必要時は相談をしたり、意見を頂戴しています。	市の担当者とは運営基準等について照会する程度ですが、地域包括支援センターとは運営推進会議への出席を通じ緊密な協力関係が築かれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置。定期的(3ヶ月毎)に開催をしています。ユニット毎に、問題点等を確認し施設全体として取り組みをしています。定期的に研修を行い周知に努めています。	3か月に1回は開催する身体拘束委員会の記録簿に、禁止の対象となる具体的な行為全てを列挙して、全員に浸透するよう工夫しています。玄関から距離の有る門扉のみは安全のため日中も施錠しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法について研修を行い、スタッフへ周知しています。些細な事にも目を配り、職員のストレスの緩和・モチベーションのUPを図っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内のコンプライアンス研修やマニュアルに沿って行い全職員へ周知しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は対面にて1つずつ読み上げ、ご家族様に解り易い様に説明したています。不明点・解らない事はその場でお答えしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部評価において実施されたアンケート結果、関係部署(本社)よりお送りしているアンケートのハガキ、面会時のお話しの中での意見を参考とし、グループホームの運営に反映しております。	利用者については、運営推進会議、傾聴ボランティアの機会を設け、家族については毎月本社から家族にアンケートを行っており、その回答結果を運営に反映させる仕組みが来ています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議(カンファレンスを含む)を行い、その中で意見をくみ上げたり、定期的な面談を全職員と行い意見交換を強めます。	職員の意見や提案が運営に反映れている好例として、運営法人の別の施設で働いていた職員が、当ホームの良い点として、気付いた点について提案しやすく、提案すれば真面目に検討して貰えると話しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全職員が組合に加盟しています。意見を反映できる環境にあります。定期的な面談を実施し困りごとを共有し、改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時研修を非常勤・正社員に分けて行っています。新入社員には、フォローアップ研修を本社にて実施。スキルアップ・教育に努めています。毎月の事業所内研修を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏市GH連絡会主催の研修会・交流会に参加をしています。又、外部の研修会への参加も行い、ケアの質を上げるために取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談の実施。ご本人様・ご家族様のお気持ちを汲み取り、入居者様1人1人安心して生活を送って頂く為に(自宅と同じように)環境を整えています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学の際に、現時点での悩み事・困りごと・不安な事をお聞きし、改善できることがあるか、どの様に改善していくかを共有し、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学の際にお聞きした中で、当社のサービスだけでなく、その方にあったサービスの提供をご提案させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お一人お一人に合わせた生活リズムを大切に洗濯物を干したり・畳んだり・お盆ふき等出来る事を行って頂いています。余暇活動(個別・全体)を取り入れています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間に制限はなく、いつでも自由に来れる環境を整えています。ご家族様がお見えになった時には、日ごろの様子をお伝えしています。毎月個別にお手紙を作成しお送りしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・知人・ご近所の方が来訪したり、買い物に出かけたり、関係性が途切れない様に努めています。	コロナ禍の為、数カ月は面会も控えて貰っているため、家族とも疎遠な状況を強いられています。施設では面会を予約制で受け付け、居室以外の場所に面会場所を決め、利用者と家族が1時間程度まで会えるように工夫し、安心して貰えるように支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お一人お一人のコミュニケーション能力は様々なので、職員が間に入り、関わりが持てる様に配慮しています。又不快な声掛けにならない様に、声掛けの仕方・声のトーン等気を付けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用の終了したご家族様の来訪・お電話の際は、ご本人様の思い出話・ご家族様の近況等、相談事・悩み事に耳を傾ける様に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、ご入居者様の日々の会話・表情等を把握し、お一人お一人どのような思いがあるか、して欲しい事・したい事に寄り添うケアを心掛けています。	管理者は利用者の言動から、意図を汲みとり希望や思いに添えるように職員に支援方法を指導しています。約半数の利用者はコミュニケーションが成立して思いを伝えることができますが、片言や笑顔等では、把握が困難な利用者もいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前面談において、自宅での生活・地域との関わりの把握に努めています。入居後も継続できる関係性を持続できるように、生活環境作りにも努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の今までの暮らしの質を落とすことがないように、心身状態の安定・穏やかに過ごされるように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時は、日ごろの生活・状態の変化・等を踏まえ、(カンファレンス・サービス担当者会議等)ご家族様・ご本人様へお話ししています。必要に応じて随時計画の見直しをしています。	月1回カンファレンスを行い全利用者の状況把握をしています。短期計画は3か月毎にモニタリング、長期計画は6か月毎に見直し更新しています。支援計画と利用者の希望が一致しているかを家族にも聞いて、安心して貰えるプランにしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活記録表・往診の記録などから、支援経過に落とし込み記録しています。(カンファレンス・サービス担当者会議にて共有)又見直し必要時は、随時開催し共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	サービスの変更時は、カンファレンス・サービス担当者会議を開催し、職員へ共有しています。現時点で外部の交流の場への参加を希望されている入居者様はいません。必要に応じてサービスの多様化に取り組める体制を整えています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事等への参加・グループホーム連絡会主催のイベントなどに参加をしています。(コロナ過で現在は参加ありません)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関(内科医・皮膚科・精神科・歯科・訪問マッサージ・訪問看護)の往診があります。健康管理・救急対応等、連携密にしています。	各利用者の担当医が平均月2回必ず訪問診療を行い健康状態を把握しています。歯科は月1回15人程の希望者が定期訪問診療を受けています。他の診療科では、定期来訪して貰っている科もあります。2名程家族や職員が専門外来へ通院支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が、週1回各ユニットを健康管理の為訪問しています。お一人お一人の記録をつけ、情報の共有をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は入院先の病院へサマリーを渡し、情報共有しています。定期的にお見舞いに行き、現時点での状況を把握・SWと共有しています。退院後は看護サマリーを頂き、情報共有しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に終末期医療について(看取り)説明しています。実際に看取りとなった時は、再度説明をし、担当医・ご家族様。施設側とで、今後の方針を話し合い決めています。	看取りの時期になった場合は医師や家族との相談によりその後の支援方針を決めています。去年は1名を看取りました。緊急時や医療的ケアが必要と判断した場合は、病院に搬送しており、年間4～5名程度救急車対応しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時・事故発生時は担当医に連絡をし指示を仰ぎます。救急車を要請し対応する事も有ります。ご家族様への連絡も欠かさず行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラー・消火設備・自動通報装置を備えています。消防訓練は年2回。コロナ禍で地域の方を踏まえた訓練は行っていない。必要に応じ消防署員に指導をお願いしている。	法令に従いスプリンクラー等の防火設備を整え、防火避難訓練を夜間も想定して行っています。3ユニットありますが、平屋建てなので、建物外への避難は比較的容易と思われる。飲料水の備蓄は3日間程度ですが、広域災害の場合でも本社の支援が直ちに得られるのか、不安があります。	最近各地で大規模災害が増えていることを考え、防災頭巾等の備蓄品の内容と数量を絶えず見直すこと、あらゆる事態にも正しく対応できるように訓練しておくことが望まれます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人を尊重し、羞恥心・プライド・プライバシーに配慮しています。声掛けの仕方などにも留意し、研修にも取り入れています。	管理者は、浴室や排泄時のドアの開閉や1対1の介助、利用者への声かけの方法など、職員の態度に気づいた場合や気になった職員には個別に指導し、更に研修を行って、介護支援の質の向上に努めています。	本部研修はネット配信にて行われています。年間研修計画の中に接遇研修が含まれていますが、支援レベルが統一されていないとの意見が家族アンケートに出ているので、工夫や改善が期待されます。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定のできる入居者様には、衣類の選定をして頂いたり、出来る事は行って頂きます。お手伝いが必要な入居者様には職員の方で、季節に合った衣類を選んだり、お声掛けをしたり、お手伝いをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活に制限を設けない(自由)運営を心掛けています。出来る事は行って頂き、出来ない事はお手伝いをしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみを整える(お化粧・髭剃り等)その人が望んでいる事を把握し、個別に対応しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	業者より、栄養バランスの良い物・嗜好に合わせたもの・行事食等届けられます。盛り付け・配膳・下膳等出来る事は役割を持って行っています。一緒に食べる相手や環境を整えています。	業者委託による食材がメニューと共に届き、職員は温め、盛り付け、配膳して提供しています。職員と一緒に食事を摂ることで、利用者の様子や調理食材の味を把握しています。全介助2名、一部介助が必要な嚥下困難者が6~7名います。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人お一人の嗜好を把握し、飲み物を提供しています。水分量の記載(1日 1000cc~1500cc)目安としています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後・起床時・就寝時の口腔ケアの実施。声掛けを行っています。毎週1回訪問歯科医師から、個々に合わせた。歯ブラシの指導を受け、実践しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人お一人の排泄パターンを把握し、個別化をしています。昼間はトイレにお連れする。夜間は入眠時間の確保を最優先とし、個々に合わせた排泄援助を行っています。	排泄自立している利用者は6名ほどいます。一日7～8回トイレ誘導を行い、夜間は約4回見回りと排泄介助を行っています。利用者の排泄自立を促しながら頻尿者や失禁者が安心できるように支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量・食事量のチェック。適度な運動を心掛け対応しています。担当医・訪問看護師と相談しながら、適時にお薬の調整もし対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	介護保険では週2回は必須ですので、入浴表を活用しつつ、その時の体調・気分の変化に合わせて臨機応変に対応しております。	利用者は週2回、40分ほど入浴の機会を得ています。入居時に入浴拒否があったものが、適切な促しにより、次第にシャワーや洗髪、そして入浴することを受入れるようになった人がいます。また、入浴剤を入れて楽しむ人もいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自宅での睡眠時に使用していたもの(ベッドなのか、布団なのか)考慮し、ご本人様が落ち着ける空間造りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の量・新しい薬の処方等の時は、状態の変化を留意しています。必要に応じ、主治医・薬剤師と連携をし、注意事項などを共有し対応しています。又ご家族様への報告も行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	習字の得意な方・歌がお上手な方・ピアノが得意な方等、個々に違うので嗜好を大切に、張り合いのある・楽しみのある生活を過ごして頂ける様にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で外出自粛の為、現在は控えている状況です。短時間の外出(お墓参り・1時間程の散歩等)ご家族様・ご本人様のご要望については、事前に相談させて頂き実施しています。行先などはお伝えをお願いしています。	コロナ禍により外出制限されている状況ですが、2～3名は、家族と小一時間ドライブを楽しむ人がいますが、ほとんどの利用者は、この数カ月は散歩や日光浴が出来ない生活で、活動は自室と施設内移動のみ、終日体操や歌、習字など動きの少ない生活となっています。	コロナ禍で数カ月に及ぶ外出制限を強いられているので、運動不足に陥らないよう、ホーム内の広さと動線を利用した歩行訓練や、安全な玄関先での日光浴・外気浴などの工夫により、利用者合った健康の為の支援を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	グループホームでは現金をお預かりしていません。どうしても必要であれば、ご家族様の了承を得てお預かりしています。その際は他のご入居者様とトラブルの無い様に配慮しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	グループホームでは携帯電話の使用を許可しています。居室に電話を引き使用されている方もいます。ホームの電話の使用も可能です。お手紙が届いたときは、読んで差し上げる事も有ります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの造りが平屋建て和装です。中庭・広々としたリビング・天上が高く開放感がある空間です。居室には クローゼット・洗面台・トイレが完備されています。自宅にいるような空間の提供を心掛けています。	平屋建てなので階段が無く安全な造りです。天井、照明を含め各所が和風の造りで落ち着いた雰囲気があり、居間兼食堂も広くゆったりしており、各ユニットとも中庭が有って明るく、築15年になりますが不快な臭いもありません。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の空間とくつろぎの空間を、家具や椅子・ソファを置くことで雰囲気を変えています。好きな場所で・好きなように過ごせる工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の広さは8帖ほどで、和の造りとなっています。ご家族様・ご本人様には自宅で使用していた馴染みの物・好きな物をお持ち頂く様にお話しています。トイレは2人で1つを使用する造りです。プライバシーに配慮した造りです。	居室は十分ゆとりのある広さで、クローゼットが備え付けなので、整理が行き届いています。2室共同とはいえ各室にトイレがあり、洗面台も各室にあり、居室に居ても過ごしやすいように配慮されていて、入居者それぞれの好みに合った部屋作りが行われています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口には、お一人お一人の表札を飾らせて頂いています。居室が判るようにと、慣れ親しんで頂ける様にとの配慮です。全てバリアフリーで、安全・安心して生活して頂ける様に、環境を整えています。		